

# CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島大学(霞)講義棟新営工事	階数	地上5F
建設地	広島県広島市南区霞一丁目2番1の	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、近隣商業地域、準	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2021年11月19日
敷地面積	142,646 m <sup>2</sup>	作成者	三浦
建築面積	843 m <sup>2</sup>	確認日	2021年11月19日
延床面積	3,961 m <sup>2</sup>	確認者	三浦



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 82% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 82%

④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.8	スコア = 1.9	スコア = 3.4
<b>設計の計画段階に配慮した事項</b> 開口部にはLOW-E複層ガラスを採用し熱負荷低減に配慮した。外壁の吹付断熱材の厚みを40とした。CO <sub>2</sub> センサーによる換気量の変風量制御により、空調外気負荷の低減を図る。/ 躯体と仕上げが分別可能な計画としている。(躯体+軽量鉄骨下地+ボード等内装材) / 分別が容易な計画(躯体+軽量鉄骨下地+ボード等内装材)	<b>設計の計画段階に配慮した事項</b> / 駐車駐輪施設・搬入車両用庫庫の設置や複数出入口の計画等により交通負荷抑制に努めた	<b>設計の計画段階に配慮した事項</b> 構造は重要度係数1.25として、耐震性を高めている。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される